

播隆・槍への道程

ばんりゅう

やり

みちのり

ぜん つな  
善の綱をたどれば

会 期 \* 平成17年 6月4日(土)  
~8月21日(日)

(6月6・13・20・27日の月曜日は休館)

開館時間 \* 午前9時~午後5時 (入館は午後4時30分まで)

会 場 \* 大町山岳博物館

観 覧 料 \* 大人 400円 高校生 300円 小・中学生 200円  
※常設展と共通、30名様以上の団体は各50円割引  
そのほかの各種割引については窓口でお問い合わせください

主 催 \* 市立大町山岳博物館

監修・協力 \* ネットワーク播隆代表・黒野こうき氏

後援 \* 信濃毎日新聞社 朝日新聞松本支局 中日新聞社  
読賣新聞松本支局 毎日新聞松本支局 産経新聞社長野支局  
大系タイムス株式会社 民友信州 市民タイムス FM長野  
SBC信越放送 NBS長野放送 (株)テレビ信州 長野朝日放送(株)  
アルプスケープビジョン(株) 大町市有線放送電話農協



ばんりゅう やり みちのり  
**播隆・槍への道程**

ぜん つな  
**—善の綱をたどれば—**

世の人の恐るる嶺の鎗のほも やがて登らん我に始て  
 ぜんの綱天保五つのふみの月 初めて拝む三日月かな

播隆上人詠歌二首 『念仏法語取雑録』(一心寺蔵) 抜粋

槍の穂先のように鋭く尖った山頂部をもつ槍ヶ岳(3,180m)は遠くからでもすぐにそれとわかり、北アルプスを象徴する山の代表格です。

槍ヶ岳は江戸後期の文政11年(1828)、念仏行者・播隆によって開山されました。播隆は5回にわたる槍ヶ岳登山で、山頂に仏像を安置するだけでなく、山頂付近の岩壁にワラ縄と木製の鈎(かぎ)でつくった「善の綱」(後により丈夫な鉄鎖にかけかえられる)を取りつけ、後につづく登拝者の安全を図ったのです。

当時、なぜ播隆とその弟子や講中の人びとは高く険しい槍ヶ岳の頂上まで歩を進めたのでしょうか。

ここではネットワーク播隆代表・黒野こうき氏の監修・協力を得て、岐阜・富山・長野県などに現存する播隆関係資料や写真パネルを展示し、槍ヶ岳開山に込められた人びとの思いを探るとともに、近代登山以前の国内における登山の一面を紹介します。

背景：播隆上人六字名号軸(長野県松本市 玄向寺蔵)の署名・花押※



■展示構成

- 第1部 念仏行者・播隆 一人と足跡—
- 第2部 播隆の槍ヶ岳開山
- 第3部 播隆研究アラカルト

■主な展示資料

- 1. 播隆上人所持「錫杖頭」「托鉢碗」(岐阜県揖斐郡揖斐川町 一心寺蔵)※
- 2. 「開山曉幡隆大和上行状略記」(岐阜県岐阜市 正道院蔵)
- 3. 播隆上人作「鎗ヶ嶽絵図」(富山県富山市 個人蔵)※
- 4. 「信州鎗嶽畧縁起」(長野県松本市 個人蔵)
- 5. 播隆上人六字名号軸(槍ヶ岳念仏講)(長野県松本市 玄向寺蔵)※
- 6. 播隆上人所持「護持仏」(岐阜県美濃加茂市 祐泉寺蔵)※  
 播隆上人六字名号軸(奈良県生駒市 無縁寺蔵・  
 長野県南安曇郡豊科町 法蔵寺提供) ほか

※印の資料写真：撮影・提供 黒野こうき氏

関連催しのご案内

第6回 播隆シンポジウム

「播隆を探る —近世の聖と播隆—」

(主催：ネットワーク播隆・市立大町山岳博物館)

日時 6月5日(日) 午前9時~午後4時

会場 サンアルプス大町(大町市文化会館隣り)

※参加費無料・申込不要。内容など詳細については山岳博物館までお問い合わせください。

お問い合わせ

市立大町山岳博物館

〒398-0002 長野県大町市大字大町8056-1

TEL0261-22-0211/FAX0261-21-2133

E-mail: sanpaku@city.omachi.nagano.jp

交通 公共機関 JR信濃大町駅から  
 タクシー5分、徒歩25分  
 マイカー 長野自動車道豊科ICから40分

